

市議会 だより

発行 / 由利本荘市議会
 編集 / 議会報編集特別委員会
 〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地
 電話 / 0184-24-6386 FAX / 0184-27-1793
 Eメール gikai@city.yurihonjo.akita.jp



笑顔で“実りの秋”体感
 (石沢小学校稲刈り体験教室 10月1日)

平成22年 第3回市議会定例会(9月)

一般質問

佐々木隆一 議員、作佐部 直 議員	2 P
齋藤 作圓 議員、佐々木勝二 議員	3 P
高橋 信雄 議員、湊 貴信 議員	4 P
伊藤 岩夫 議員	5 P

常任委員会報告	6 P
平成21年度決算認定、補正予算など	8 P
議長公務・交際費報告	11 P
政治倫理審査会	12 P
市民の声、編集後記など	14 P

市政に 対する

一般質問

一般質問は9月7日・8日の2日にわたって行われ、7人の議員が市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をたどりました。各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。
内容は、9月現在のものです。

商品券補助事業について

会派 日本共産党

佐々木 隆 一 議員



質問 商品券の元々の発想は「大型店対策」として中小業者の利用拡大を図る目的で、合併前の旧町で実施していたその後、市全域での発行となり、大型店からも商工会へ加盟申請があり、商品券事業に大型店が加入した。
共産党の大型店に対する考えは、住民の暮らしを第一にしたルールに基づく大型店と中小業者などの共存共栄が必

要という立場である。今年度より換金手数料は大型店は2%

、それ以外は1%だが、来年度以降大型店の換金手数料を上げるべきである。昨年度、大型店で使用された金額、小売業などで使用された金額はいくらか。

答弁 商工会では手数料の引き上げは今回の状況をみて検討していきたいとのことである。昨年、大型店の換金額は3580万円・33%、小売業が5790万円・53%、飲食店、建設業など1564万円・14%である。

質問 米価の暴落が続いている。多くの農家が労賃分も出なく経営は困難を極めている。コメの安売り競争、政府の備蓄米の放出、コメの輸入も要因だ。地域経済にも大きな打撃を与えている。仮渡し金も

前年比60キ口、千円〜3千円下落している。市長は関係機関に強く働きかけるべきである。

答弁 本市の農業は稲作が主体であり、農家経済は収量・価格に大きく影響されている。米価下落の要因になっている過剰米の隔離など関係機関に強力に要請していく。



農業は本市の基幹産業

最近の入札状況について

会派 民主党

作佐部 直 議員



質問 工事の品質低下が懸念される低入札の発生状況は。

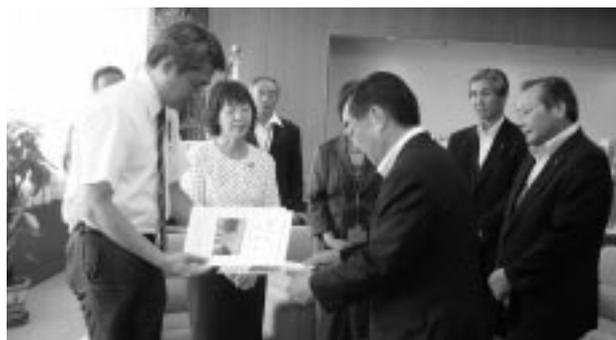
答弁 8月末現在の低入札適件数は184件。うち調査件数は37件で全体の20%。この中で契約したのは32件であり、ほかの5件は調査価格基準以上での契約である。

質問 8月12日開示、8月18日予定の教育委員会関係の入札が、延期となった理由は。

答弁 本荘地域4校のコンピュータ並びに周辺機器の更新について、納期から逆算して、当初8月18日として指名業者に通知した。

お盆に入り、見積もり期間を十分にとれない旨の要望があり、入札日を8月25日に延

期したが、仕様書に不備があることが判明し、入札を中止した。9月中旬に改めて入札を行うために準備を進めている。



津川祥吾国土交通大臣政務官へ要望書を提出

質問 市と市議会との合同中央要望について、参加人数と経費の総計、具体的な使途は。

答弁 市からは、市長・副市長に随員4人の6人、議会からは正副議長と各委員長と随員2人の8人、合計14人で7月21日〜22日の2日間、経費は14人の旅費が81万円、要望書印刷代が約18万円、手土産代5千円の合計99万8565円である。

本市の特徴を生かした地域形成の前進策について

会派 市民クラブ

齋藤 作 議員



質問 伸びない秋田由利牛の問題点は。現状の生産体制や頭数拡大対策などで、将来の展望は開けるのか。

答弁 秋田由利牛の生産拡大とブランド確立を図るため、さまざまな努力をしている。しかし肥育経営は初期投資が多く、高度な肥育技術が必要とし、価格変動などのリスクがあるため、新規農家が出ないのが現状である。提案いただいた「預託牛制度」の創設であるが、ふれあい農場の高度技術と併せ、J Aや関係機関と協議し、秋田由利牛生産拡大を目指した一貫生産体制確立など、あらゆる角度から本市版預託制度を考えていく。

質問 恵まれた本市の特徴を生かす自然エネルギー生産供給基地化の考えは。

答弁 本市の自然エネルギーは太陽光、風力、小水力発電が主なものであり、太陽光発電は58件の申請である。

風力発電は18基稼働し、西目地域に集中しており、今後新たに2カ所の設置が計画されている。また、西目小水力発電のように、本市には小水力発電の有望地点が三十数箇所あり、実用化の可能性について検討していく。

バイオマス構想の公表により、本市の取り組みが関係機関に理解され、バイオマス構想実現に向けた国の支援が受けられ、新規産業の参入にも大きく寄与するものと考えている。

質問 鳥海山観光開発について、他県・他市より一極集中の取り組みが不足していないか。

答弁 国定公園であるため課題も多いが、本市の開発は鳥海に始まり、鳥海に終わるがごとく、念頭に入れ事業推進を図っていく。

大雨被害（災害）の対策について

会派 フォーラム輝

佐々木 勝 二議員



質問 大雨被害（災害）の対策について、特に宅地内土砂流入被害に対する市の助成金制度について。

答弁 被災された皆様の救済方法の一つとして「由利本荘市災害復旧救済措置要綱」を制定している。この内容は、災害発生時の復旧に関して、今後、さらに被害が拡大する恐れがあり、かつ、住家においては、日常生活に多大な支障をきたし、緊急に応急対策が必要と認められるとき。また、非住家にあつては建物が破損し、使用が困難と認められるときの救済措置で、災害原因の土砂の除去などに係る経費の3分の1以内で、30万円を限度に助成金を交付する

ものである。

質問 水林球場改修工事計画の内容について。

答弁 水林球場は開設から32年が経過し、施設の老朽化や球場の広さが旧来の規格であるなど、利用者ニーズに対応しきれない状況となっている。水林球場の改修について検討するため、平成19年度に、関係団体の代表者や有識者12人で構成される「水林球場改修に関わる検討会」を設置し、改修計画について検討を重ねてきたところである。水林球場改修事業については、平成23年度事業としたところであり、同時に、多くの野球愛好者から早期の改修が望まれており、来年度には改修事業に着手する予定となっている。改修にあたっては、「内外野の全面人工芝による舗装」「スコアボード・バックスクリーン一体型電光掲示板の設置」など、検討会で協議した内容を基本として進めたい。

議会の動き

7月

2日* 国道107号整備促進

期成同盟会通常総会

* 秋田県国道108号鳥

海ライン整備促進期成

同盟会通常総会

5日* 議会運営委員会

8日* 市と市議会との合同県

内要望

9日* 第2回臨時会

* 議会報編集特別委員会

13日* 地域高規格道路本荘大

曲道路整備促進期成同

盟会総会

14日 16日* 総務常任委員会

行政視察（甲府市・駒

ヶ根市・多治見市）

16日* 第一回秋田県市議会議

長会定例会

20日* 議会改革委員会

21日 22日* 市と市議会との

合同中央要望

廃校校舎の跡地利用について

会派 市民ネット

高橋 信 雄議員



質問 廃校校舎の跡地利用について。

答弁 合併前に廃校となった鮎川・前郷の2小学校に加え、現在、統廃合作業を進める八塩・川内・直根・笹子・亀田・道川・松ヶ崎の7校が検討対象となっている。

質問 鮎川小学校の活用と整備は。

答弁 「廃校舎の活用」に向け支所内に「庁内検討委員会」を設置し、鳥海山ろく線との連携、国登録文化財としての評価、現在、市内で分散保存されている9千点の「民俗資料」の活用を含めて協議・検討するよう指示している。

質問 地デジ化とCATVの活用と普及について。

答弁 地デジへの円滑な移行のためCATVでは「デジタル変換」の平成27年3月末までの暫定実施を要請されたことから、手続きを進めている。

質問 全国学力テストの結果と分析・評価について。

答弁 本市においては抽出対象校以外のすべての学校でも希望により調査に参加した。採点の結果、それぞれの分野で全国を上回り、おおむね良好であるが、「活用」問題などに正答率の低さが見られるなど、課題も明確になり、分析を活かしながら家庭との連携で指導に取り組んでいく。

質問 戸別所得補償と生産調整について。

答弁 5020戸の経営体が入入申請したが、膨大な確認作業のため、交付金の年内支払いについて国は明言を避けている。転作達成率は100.3%である。自己保全などは1千ヘクタールを超え、今後有効活用の取り組みを進めたい。

けい 子宮頸がん予防ワクチン 接種への全額公費負担は

会派 市民ネット

湊 貴 信議員



質問 子宮頸がんは確実に予防できると言われているが、ワクチン接種への助成を一部ではなく全額公費負担にすべきではないか。

答弁 厚生労働省で概算要求特別枠に盛り込んでおり、負担割合や対象年齢など明らかになっておらず、動向を見極めて対応する。

質問 本市の部位別がん検診率の現状は。

答弁 全県検診率の平均よりは若干高いものの、大腸がん検診率を例に、40歳以上で平成19年度34%、20年度27%、21年度は25%と下がってきている。

質問 人間ドックへの助成の見直しにより、自己負担額が増えたり、対象が国保加入者のみとなるなどの要因が検診率の低下にもつながっていると考えられるが。

答弁 人間ドックの負担軽減は、年齢による節目検診の実施など、現検診に対する意識を検証しながら、財政状況とも併せ検討する。

質問 老老介護や一人暮らし世帯が増え、ひきこもりの増加も懸念される中、ミニデイサービスは有効な事業とされているが、今後の取り組みは。

答弁 この事業を市全域に拡大し、多くの自治会に実施していただくよう周知する。また、「出前健康講座」などの実施主体である自治会と連携し、同事業の充実に努める。

質問 学校統廃合により学校が無くなる地域の将来像をどのように描き、まちづくりに取り組みまれていくのか。

答弁 学校にかわる集いの場、賑わいの場として、跡地や校舎の活用方法を、地元の意見を聞きながら検討していく。

8月

3日* 議会運営委員会

5日~6日* 東北日本海沿岸市町村議会協議会役員会及び総会

10日* 第3回臨時議会

18日~20日* 秋田県市議会議長会実行運動及び研修

視察

20日* 議会改革委員会

* 議会議員政治倫理審査

23日* 会派代表者会議

24日* 議会報編集特別委員会

研修会

26日* 議会運営委員会

9月

2日* 議会運営委員会

* 第3回定例会本会議

(開会)

* 議会全員説明会

3日* 議会議員政治倫理審査

7日~8日* 第3回定例会本

会議(一般質問)

防災対策および観光施策・国道管理要請などについて

会派 公明党

伊藤 岩 夫 議員



質問 ゲリラ豪雨に対する防災対策について伺う。

答弁 防災調整機能を持つ、ため池などの管理については、土地改良区などの管理者と連携をとり、危険の無いよう対応していく。また、市民に対する防災意識の普及と啓発のうえから、あらゆる災害を想定した防災訓練を実施しているところである。災害により孤立状態が予想される地域・箇所については、災害の原因や規模により被害状況が異なることから、現時点では特定出来ていないが、災害時には被災状況を迅速に把握し、的確な災害応急対策に万全を尽くす。

質問 外国人観光客の受け入れについて伺う。

答弁 観光案内人の育成や「おもてなしの心」の向上の面ではまだまだ遅れており、対策が急務である。

市として、観光団体が主催する外国人観光客向け「ホスピタリティ向上」講習会に、市内観光団体から積極的に参加していただき、受け入れ体制の整備に努める。観光案内板、施設などの外国語併記の整備については、次年度以降実施する予定である。

質問 国道7号歩道管理の働きかけについて伺う。

答弁 国土交通省本荘国道維持出張所に、定期的な道路パトロールなどの実施により、的確に状況を把握し、歩道舗装の亀裂補修、除草作業などを、適宜対応していただくよう強く働きかけていく。

報告

新会派の結成や、各常任委員会の所属変更などがありましたので、皆さんにご報告します。

会派の結成

会派「グループ創風」に所属していた作佐部直議員が7月31日付けで同会派を脱会し、8月1日付けで次のとおり会派を結成しました。

民主党（1人）

代表 作佐部 直

常任委員会などの所属議員変更

各常任委員会、議会運営委員会および特別委員会の所属議員の変更について、9月2日の本会議において次のとおり決定しました。

辞任 作佐部 直

（民主党）

選任 渡部 専一

（グループ創風）

建設常任委員会

辞任 渡部 専一

（グループ創風）

選任 作佐部 直

（民主党）

議会運営委員会

辞任 伊藤 順男

（市民ネット）

選任 作佐部 直

（民主党）

議会報編集特別委員会

選任 作佐部 直

（民主党）

（定数9人から10人に変更）

（仮称）文化複合施設

整備特別委員会

辞任 若林 徹

（政和会）

選任 堀川喜久雄

（グループ創風）

9月14日開催の（仮称）文化複合施設整備特別委員会において、作佐部直委員が副委員長を辞任し、堀川喜久雄委員が副委員長に就任。

8日* 決算審査特別委員会

* 議会報編集特別委員会

* 議会議員政治倫理審査会

会

9日、10日、13日* 各常任委員会・決算審査特別委員会分科会

*（仮称）文化複合施設整備特別委員会・決算審査特別委員会分科会

14日* 議会議員政治倫理審査会

15日* 決算審査特別委員会主査会議

17日* 議会改革委員会

* 決算審査特別委員会

* 建設常任委員会

22日* 議会運営委員会

* 第3回定例会本会議

（閉会）

* 議会議員政治倫理審査会



常任委員会報告(Q & A)

上程（議事日程に組み入れ議題とし、審議の対象とすること）された議案は各常任委員会および（仮称）文化複合施設整備特別委員会に付託されます。各委員会では、議案及び報告事項について当局より説明を受けるなど慎重に審議されています。

教育民生常任委員会

Q、高齢者住宅整備資金貸付金の滞納繰越の現状と今後の対応は。

A、滞納者本人が亡くなられた場合や、近親者が相続を放棄された場合などについては、納付していただく方がいないことから、徴収を断念せざるを得ないと考えている。

また、生活保護を受給している方についても、経済力の好転を待つて納付を促すことも可能ではあるが、現実的には困難であると考えている。

何度も督促を行い、分納に

Q、由利組合総合病院への放射線治療システム装置導入に対する補助の内容はどのようなものか。

A、由利組合総合病院は、国より「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けているが、平成6年の開設の際に整備した、放射線治療システム装置が経年劣化の状況にあることから、更新整備が急務の状況

に応じて完納された方もいることから、今後は、同様の対応をしていきたいと考えている。

しかし、同装置の整備総事業費が約2億2500万円と高額であることから補助申請されたものであり、本市より3750万円を補助しようとするものである。

なお、国・県より1億1271万7千円、にかほ市より1250万円が補助され、病院負担分が6271万8千円である。



現在の放射線治療システムを現地調査

総務常任委員会

Q、現在のアナログテレビでも、来年7月以降もテレビが見られるという「デジタル変換」による再送信放送について伺う。

A、総務省から、地上デジタル放送への円滑な移行を図るため、地上デジタル放送をアナログに変換して再送信する、いわゆる「デジタル変換」を平成27年3月末日まで暫定的に実施するように、各ケーブルテレビ事業者に対し要請されている。市では、県内各放送局の同意が必要条件である

ことから、NHKからは、9月1日付けで同意書をいただき、民放3社からは、9月13日付けで同意の覚書を締結できる見込みとなっている。

Q、平成21年度に2区画、22年度8月末日までに2区画、本市の分譲宅地が販売され、売り払い収入としてあがっているが、残区画数はどのくらいなのか伺う。

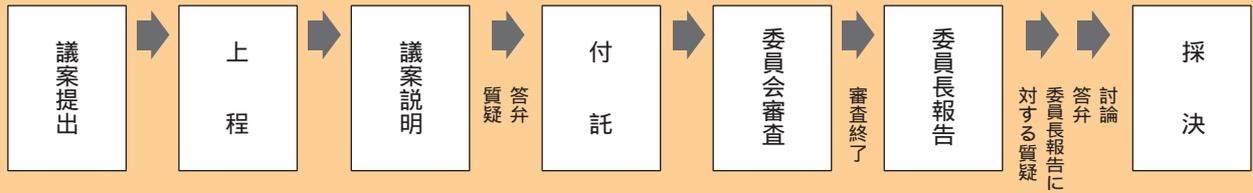
A、岩城地域富田根本団地5区画、西目地域潮騒の丘ニュータウン9区画、東由利地域

サンガーデン大琴12区画、由利地域寺田分譲地2区画、矢島地域榎木田分譲地1区画、ほたるの里分譲地1区画、鳥海地域鶴ヶ平分譲地25区画、下野分譲地2区画、6地域233区画のうち、合計57区画が残区画となっている。ふるさと会やホームページで紹介しているが、今後さらに検討を加え、販売を図っていく。



潮騒の丘ニュータウン(西目地域)

～ 委員会付託の流れ～



建設常任委員会

Q、上下水道の料金改定について、34回にわたり市民説明会を開催したとのことだが、市民の皆さんからはどのような質疑があったか。また今後の説明会の予定は。

A、説明会の中で質疑内容の主なものは①一般市民への周知方法、②下水道の水洗化率、③庭先での家畜飼育・ハウス・庭木の散水など下水道に流れない場合の取り扱い、④合併協議会で3年以内に料金統一するとの協議があったが、出来なかった理由などで

60人以上の方々から質問があった。今後の市民説明会については、「出前講座」という形式とし、集落単位で利用していただきたい。

Q、下水道の使用量を認定するための別メーターの取り付けには、どのような場合が考えられるか。

A、下水道使用料金は水道水の使用量により算定されるが、水道水のほか、井戸水や山水も利用している場合、実際の

水道水の使用量と異なることから、その量を計測するために別にメーターを取り付けさせていただき検針してプラスする。また、逆に家畜飼育や野菜栽培などに水道水を使用している場合には、下水道に流れない水となることから同様にメーターを設置していただき、検針して引き算をして算定することになる。この場合のメーターの設置は使用者負担となる。



岩城地域協議会(7月20日)で料金改定について説明

産業経済常任委員会

Q、8月の局地的大雨で、地域によっては多くの災害が発生したが、各地域で災害復旧の考え方に相違がある。また、同一人である個人が多数の個所で被災しても、一カ所当たりの復旧費が10万円に満たない場合は補助対象にならず、農家に大きな負担が生じる。柔軟な対応が出来ないか。

A、農地・農業用施設単独災害復旧事業費補助金交付要綱の運用について、管内統一、次のとおり取り扱うものとする。

①国庫補助または負担の対象となる「農地・農業用施設災害復旧事業」の取り扱い要領、手引きなどを準用する。
②一カ所工事の取り扱いについて、暫定法では150坪以内の間隔で連続している場合は一カ所とされているので、これを原則とする。ただし、被災箇所が連続しないために、その方が数カ所で被災しても補助対象外となり、復旧経費がかさむ場合など市長が特に認めた場合はこの限りではない。150坪以上の間隔があ

あっても、合算して一カ所として取り扱う事ができる。
③復旧工法、仮設費については、木杭・木柵による土留工法、復旧工事に必要な仮設用鉄板敷なども補助対象とする。
④実績報告の時点では、事業に要した経費の領収書を添付する事が必要である。
⑤農業の維持、経営の安定に寄与することを目的とする本補助金交付要綱の趣旨により、出来る限り農家の救済が図られるよう柔軟に対応する。



林道中ノ沢線(大内地域)を現地調査

平成21年度 一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

平成22年度一般会計補正予算は

10億5,649万7千円を追加

..... 鳥海高原矢島交流センター条例などを制定

平成22年第3回市議会定例会（9月）は、9月2日から22日までの21日間の会期で開催されました。今定例会への提出議案は、最終日に追加提出された過疎地域自立促進計画策定案件を含め、一般会計補正予算専決処分報告1件、決算認定19件、人事案件3件、条例関係7件、各会計補正予算関係14件、その他7件の計52件のほか、委員会発案2件が上程されました。審議の結果、継続審査とされた市道路線廃止・認定の2案件以外は原案どおり可決。また、請願2件、陳情1件を採択しました。

決算審査特別委員会

平成21年度決算審査のため決算審査特別委員会が設置され、各常任委員会および（仮称）文化複合施設整備特別委員会を各分科会として、他議案と並行して審査しました。

平成21年度一般会計の歳入総額は53億9,990万8千円で、前年度比は29億4,933万5千円（5.8%）の増。歳出総額は52億2,437万7千円で、前年度比は28億1,531万5千円（5.7%）の増となり、歳入歳出差引額は16億8,047万1千円となっています。これから翌年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支額は13億2,025万5千円の黒字です。

また、一般会計と受託施設休日応急診療所、情報センター

1、地域情報化、奨学資金の各特別会計間の繰入金と繰出金などを純計した普通会計において、平成21年度実質収支から20年度実質収支を差し引いた単年度収支は93,974千円の黒字。これに基金積立額7億1,596万7千円と地方債繰上償還金2億9,629万3千円を加え、基金取崩額3,000万円を差し引いた実質単年度収支も11億3,233万4千円の黒字となっています。

一方、特別会計（16会計）の歳入総額は203億9,315万2千円、歳出総額は193億4,056万9千円で、歳入歳出差引額は10億5,258万3千円となっています。

審査の結果、市税や国民健康保険税、ケーブルテレビ・YBネット使用料などに恒常的な滞納繰越やそれに伴う不

平成21年度 各会計決算額 (単位:千円)

会計別	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	53,959,908	52,279,437	1,680,471	
特別会計	国民健康保険	9,959,228	9,142,100	817,128
	老人保健	34,778	34,620	158
	後期高齢者医療	686,061	684,643	1,418
	休日応急診療所	20,847	15,717	5,130
	情報センター	414,631	403,573	11,058
	地域情報化	138,667	128,270	10,397
	奨学資金	100,662	97,268	3,394
	介護サービス	902,636	772,558	130,078
	下水道	3,194,290	3,171,276	23,014
	集落排水	3,304,778	3,283,923	20,855
	簡易水道	1,487,661	1,475,443	12,218
	休養宿泊施設	18,413	17,112	1,301
	スキー場	125,852	109,560	16,292
	小友財産区	3,623	3,580	43
北内越財産区	18	13	5	
松ヶ崎財産区	1,007	913	94	
企業会計	水道事業	1,361,179	1,219,635	141,544
	ガス事業	975,343	953,774	21,569

平成21年度の主な事業

納欠損、収入未済額などが生じていることから「公平な負担、健全な事業運営のための財源確保の観点から収入率向上に努められた」との意見を付して全て認定しました。

ケーブルテレビ施設整備事業（本荘・子吉地区および南内越地区の一部）
20億9,247万4千円

西滝沢水辺プラザ整備事業
1億1,326万1千円

猿倉温泉3号井開発事業
1億1,235万円

ふるさと・緊急雇用対策事業
2億3,833万8千円

西目小学校改築事業（体育棟・屋外環境整備等）
4億4,887万6千円

本荘南中学校改築事業（2次解体・環境整備等）
1億8,052万6千円

矢島中高連携校建築事業（プール・旧校舍解体等）
2億4,466千円

笹子公民館建設事業
2億6,244万9千円

補正予算の主なもの

総務費	文化複合施設準備費	108万9千円	農林水産業費	農業者振興事業（畑作振興基金）	1000万1千円	消防費	災害復旧救済補助金	210万円			
民生費	羽後本荘駅前駐輪場防犯対策事業	27万円	農業用施設台帳整備事業	173万9千円	消防施設等整備事業（本荘地域ほか）	149万8千円	災害復旧費	107万7千円			
災害時要援護者避難支援事業	漁港漁場管理費（浚渫等）	850万円	農地農業用施設災害復旧単独補助金	1400万円	教育費	岩城松ヶ崎地域統合小学校建設事業	328万8千円	林道災害復旧事業（現年災害）	4840万5千円		
地域介護・福祉空間整備等補助金	治山事業（岩城・大内地域）	940万円	商工費	鳥海地域市民有償運送事業再構築調査事業	107万4千円	建設事業	亀田城美術館裏山崩落復旧事業	321万5千円	林道災害復旧事業（単独災害）	1992万1千円	
児童扶養手当給付費	衛生費	2247万1千円	由利本荘魅力発信事業	1020万4千円	岩城パークゴルフ場法面崩落復旧事業	107万8千円	災害復旧費	107万8千円	農地農業用施設災害復旧事業	1271万円	
地域中核病院医療機器整備補助金	産科医等確保支援事業費補助金	3750万円	本荘地域まち歩き案内育成事業	94万円	観光資源整備事業	107万7千円	観光施設サポート支援事業	84万8千円	土木費	住宅リフォーム助成事業	1億5561万2千円
子宮頸がん予防ワクチン接種補助金	インフルエンザ対策費	202万5千円	除雪対策事業（空き家調査・鳥海地域）	182万9千円	公共土木施設災害復旧費（単独災害）	4億4810万円	公共土木施設災害復旧費	4660万円			
バイオマスタウン構想策定費		30万2千円									

条例関係

集落排水施設条例の一部改正および下水道条例の一部改正並びに浄化槽施設条例の一部改正

これまで地域ごとに異なっていた下水道などの使用料を、基本料金と従量料金およびメーター料金の合計額とし、平成23年4月1日から統一するのが主な内容。改正により大きく料金変更になる地域が生じることから、23年度は改正前と改正後の料金差額の3分の2が、24年度は3分の1がそれぞれ控除される2力年の経過措置が講じられ、25年4月から完全移行となる。

簡易水道事業等給水条例の一部改正

地域ごとに異なっていた簡易水道料金を、平成23年4月1日より、口径別の基本料金と従量料金の合計額とする、統一料金にするもの。改正により大きく料金変更になる地域が生じることから、下水道使用料などと同様の2力年の経過措置が講じられ、25年4月から完全移行となる。

鳥海高原矢島交流センター条例の制定

矢島スキー場内に8月完成した、農業活性化研修および都市間交流活動などの場となる交流施設の設置条例。施設は、木造一部2階建てで、延べ床面積591・05㎡、総事業費1億5300万円。冬期間はスキー場の交流拠点ともなる。



完成した鳥海高原矢島交流センター

人事案件

人権擁護委員の推薦

佐藤 寛氏（石脇・新任）

佐藤 孝蔵氏（鳥海町下直根・再任）

佐々木 久尚氏（西目町沼田・再任）

その他の議案

過疎地域自立促進計画の策定

過疎地域自立促進特別措置法の改正に伴い、平成22年度から27年度までの6年間の新しい推進計画を定めるもの。

法改正では、施設建設や道路・河川整備などのハード事業に限られていた過疎債の活用が、新たに医療確保や交通通信体系の整備、情報化、地域間交流促進事業などのソフト事業にも拡充されている。

移動通信用鉄塔施設用伝送路整備工事請負変更契約の締結

伝送ルートに係る光ケーブルの延長減や、電力柱および電話柱への共架条件などによる装柱材などの増と、一部自営柱に変更することなどから、契約金額を783万4050円増額し、変更後の契約金額を2億418万4050円にするもの。

(仮称)文化複合施設建設

工事請負変更契約の締結
建築基準法の施行令の一部を改正する政令が施行されたことによるエレベーターの安

全装置を作動させる戸開走行保護装置工事の追加や、図書館の蔵書盗難防止のための磁気ゲート設置、別途発注予定であった施設北側ボケットパーク融雪設備の熱源設備が施設本体工事に組み込まれており、配管工事・試験調整を一体的に行う必要がある事などから新たに工事内容を追加するなど、契約金額を1億1982万9150円増額し、58億3679万2500円にするもの。



着々と工事が進む(仮称)文化複合施設

請願・陳情

今定例会には、請願2件、陳情1件が上程され審査されましたが、結果は次のとおりです。

採択

・市道矢島下郷線立石地内の交通安全確保に関する請願

(地縁法人立石部落)

会長 小番和男

外3名)

(紹介議員 佐藤 勇)

・米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書提出についての請願

(農民運動秋田県連合会)

委員長 佐藤長右衛門)

(紹介議員 佐々木隆一)

・司法修習生の給費制の存続を求める意見書提出についての陳情

(秋田弁護士会)

会長 狩野節子

外1名)

意見書

今定例会で、次の委員会発案2件が可決され、関係機関に送付されました。

委員会発案

・米価の大幅な下落に歯止めをかけるための意見書の提出について

・司法修習生の給費制の存続を求める意見書の提出について

第3回市議会臨時会(8月)

平成22年第3回市議会臨時会(8月)が8月10日、1日間の会期で開催されました。

契約関係

起債(民間資金)繰上償還費
5億740万2千円

提出された案件は、契約案件3件のほか、7月24日の豪雨により被災した矢島・東由利地域の市道・河川などの災害復旧費や、住宅用太陽光発電システム設置費補助金の追加、民間資金繰上償還費などの補正予算1件の計4件。いずれも原案可決としました。

補正予算

住宅用太陽光発電システム設置費補助金
400万円

岩城風力発電風車修繕
800万円

新山小学校食器洗浄機更新
240万円

公共土木施設災害復旧費(現年災害)
1450万円

公共土木施設災害復旧費(単独災害)
670万円

由利橋架替事業橋台工事請負契約の締結
子吉川左岸(本荘側)橋台の設置工事について、山勇・木内特定建設工事共同企業体と1億4043万7500円で契約を締結するもの。

由利橋架替事業橋脚工事請負契約の締結
河流部右岸側に1基設置される橋脚工事について、鹿島・村岡特定建設工事共同企業体と3億6524万2500円で契約を締結するもの。

橋台および橋脚工事は、国との河川協議により、非出水期となる10月から来年3月末までの期間で施工される予定。

新山小学校屋体棟改築建築主体工事請負契約の締結
新山小学校体育館の改築工事について、山科建設株式会社と2億7510万円で契約を締結するもの。



議長公務・交際費 報告

(平成22年7月～9月分)

市議会では、積極的な情報公開で透明性のある市議会運営を目指し、議長の公務と交際費の内容を、市民の皆さんにお知らせします。

公務報告(7～9月)

月	日	行 事	
7月	2 金	国道107号整備促進期成同盟会・秋田県国道108号鳥海ライン整備促進期成同盟会合同総会 産業振興講演会・交流会	
	4 日	生駒重孝氏旭日双光章受章記念祝賀会	
	5 月	市議会議会運営委員会 神社関係者大会・式年遷宮奉賛会総会	
	7 水	市青少年ハンガリー友好交流訪問団結団式	
	8 木	市と市議会との合同要望(市内・秋田市)	
	9 金		市議会臨時会
			市行旅死亡人並びに無縁故死亡人の供養法要
			旧藩祭「交歓の夕べ」、「宵宮」
	10 土	旧藩祭「昼食会」	
	13 火	地域高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会総会	
	15 木	市婦人問題研究集会	
	16 金	秋田県市議会議長会定例会	
17 土	本荘マリナ海水浴場安全祈願祭		
18 日	市消防訓練大会		
20 火	議会改革委員会 大内地域戦没者追悼式		
21 水	市と市議会との合同要望(東京都)		
22 木	市と市議会との合同要望(仙台市)		
23 金	小友第三地区クリーンセンター通水式・通水祝賀式		

月	日	行 事	
7月	24 土	由利本荘市500歳野球大会開会式 日本海洋上花火大会	
	26 月	由利本荘市・にかほ市消防広域化協議会設立総会・第1回協議会	
8月	10 火	市議会臨時会	
	18 水	秋田県市議会議長会実行運動	
	19 木	および研修視察(東京都、岐阜市)	
	20 金	第51回全日本ローラーホッケー選手権大会、第23回全日本女子ローラーホッケー選手権大会閉会式	
	22 日	市議会会派代表者会議	
	23 月	由利組合総合病院運営委員会・懇親会	
	26 木	市議会議会運営委員会	
	29 日	2010あきた鳥海高原マラソン大会開会式	
	31 火	高速道路整備促進秋田大会(秋田市)	
	9月	1 水	石川善兵衛翁の功績をたたえる植林祭
2 木			市議会議会運営委員会
			市議会定例会本会議(開会)
			市議会全員説明会
4 土		市職場対抗バレーボール大会開会式	
5 日			市総合防災訓練
			安全狩猟全県射撃大会
			西目地域敬老会
		本荘地区福祉展授賞式	
7 火	市議会定例会本会議		
8 水	(一般質問)		

月	日	行 事	
9月	9 木	市議会定例会常任委員会	
	10 金		
11 土		秋田馬子唄全国大会	
		JA秋田しんせい肥育豚舎新築工事起工式・昼食会	
12 日		子吉川レガッタ2010市民ポート大会	
		本荘地域(松ヶ崎地区)敬老会 本荘地域(南内越地区)敬老会	
9月	13 月	市議会定例会常任委員会	
	16 木	岩城地域敬老会 第65回国民体育大会壮行会	
	17 金	議会改革委員会 市議会決算審査特別委員会	
	18 土		鳥海地域敬老会
			佐々木量一氏瑞宝双光章受章祝賀会
	22 水	市議会定例会本会議(閉会)	
	24 金	由利原浄水場建設工事安全祈願祭	
	25 土		全国市町村交流レガッタ加古川大会開会式およびレセプション(兵庫県)
			全国市町村交流レガッタ加古川大会
	26 日	加古川大会	
	28 火	大内地域(岩谷・下川大内地区)敬老式	
	29 水	大内地域(岩谷・上川大内地区)敬老式	

交際費報告(7～9月)

(円)

月	日	支 出 内 容	支出額	
7月	4 日	生駒重孝氏旭日双光章受章記念祝賀会会費	10,000	
		今野忠氏藍綬褒章受章祝賀会会費(土田副議長代理出席)	5,000	
	9 金	旧藩祭「交歓の夕べ」会費	3,000	
	14 水	総務常任委員会行政視察(山梨県甲府市、長野県駒ヶ根市、岐阜県多治見市)お土産	9,680	
9月	1 水	はまなすの郷西目に想いをよせる会費(土田副議長代理出席)	3,000	
		石川善兵衛翁の功績をたたえる植林祭へお祝い	3,382	
	5 日	西目地域敬老会へお祝い	3,380	
	12 日		本荘地域(松ヶ崎地区)敬老会へお祝い	3,420
			本荘地域(南内越地区)敬老会へお祝い	3,380
	16 木	第65回国民体育大会壮行会健闘料	20,000	
	17 金	岩城地域敬老会へお祝い	3,346	
	東由利地域敬老会へお祝い(長沼議員代理出席)	3,360		

(円)

月	日	支 出 内 容	支出額
9月	18 土	佐々木量一氏瑞宝双光章受章祝賀会会費	8,000
		鳥海地域敬老会へお祝い	3,000
9月	26 日	本荘地域(石脇地区)敬老会へお祝い(堀議員代理出席)	3,382
	28 火	大内地域(岩谷・下川大内地区)敬老会へお祝い	3,100
	29 水	大内地域(岩谷・上川大内地区)敬老会へお祝い	3,100

弔事 (円)

件数	1件
支出額	30,000

各月の交際費合計(弔事除く) (円)

	7月	8月	9月
件数	4件	0件	13件
集計額	27,680	0	63,850

市議会議員政治倫理審査会

審査報告

このほど、作佐部直議員および高橋和子議員に対する由利本荘市議会議員政治倫理条例に関わる審査請求書が提出され、その内容について審査しましたので、結果などを報告します。

作佐部直議員については、選挙カーに関するブログ記事について、他人のブログ記事を無断引用した疑いがあるとして、6人の市議会議員（齋藤作圓議員、堀友子議員、本間明議員、佐々木勝二議員、大関嘉一議員、井島市太郎議員）の連署により、審査請求書が提出されました。

高橋和子議員については関係する私的企業等と市の間で締結された10万円を超える請負請求など（平成22年2月分～平成22年4月分）について、市長から議長へ報告があり、その内容は6月市議会定例会において議会へ報告され、市議会だより第21号（8月1日発行）でも市民に公表されました。

その内容報告を受け、7人の市議会議員（本間明議員、佐々木勝二議員、大関嘉一議員、今野晃治議員、井島市太郎議員、堀川喜久雄議員、渡部専一議員）の連署により、審査請求書が提出されたものです。

議長から両議員の審査を付託された「議会議員政治倫理審査会」では、計5回の審査会を開催して審査請求の適否や内容の確認、審査請求対象議員の弁明のほか、政治倫理基準の違反行為の存否を審査し、9月22日付けで審査結果を議長に報告しました。



5回の審査会で慎重に審査（9月14日）

審査結果の内容

作佐部 直 議員

政治倫理上の認識および努力義務の履行は認められる。政治倫理条例に「抵触する」「抵触しない（判断の必要なしを含む）」の委員の判断が同数に分かれたため、委員長判断により、政治倫理条例に抵触し、「注意」勧告としました。

高橋 和子 議員

政治倫理上の認識は認められるものの、努力義務の履行は認められない。政治倫理条例に抵触するか、しないかの委員の判断が同数に分かれたため、委員長判断により、政治倫理条例に抵触し、「注意」勧告としました。

さらに、両議員に対し、「現行の『由利本荘市議会議員政治倫理条例』の遵守事項を遵守し、高潔性を明らかにするとともに、市民の信託を受けて活動する市議会議員として行動することを自覚し、さらに市議会のもとで名誉と品位を守り、市民の信頼を回復する措置を講じること」を要望しました。

審査結果についての高橋和子議員の弁明書

10月8日提出

条例11条は、「市議の利益相反的行為の防止」及び「市議が関係する企業と競合する他企業との競争の公平の確保」を立法趣旨とするものと解します。問題にされている市と農協との取引は、前記11条の立法趣旨に反しておらず、私に対する注意処分は不当だと考えます。以下理由を述べます。

私には農協の業務に関する決定に影響を与える権限も実質的影響力もありません。私と農協の関係は、夫が農協の非常勤理事を務めているという二重に間接的な関係で、私が直接に農協の決定に影響を与えることは不可能です。農協での夫の立場も非常勤理事に過ぎず、個々の具体的な契約の締結の可否には関与しておりません。従って、利益相反の見地から見た問題はないことがご理解いただけると思います。

今回の注意処分の対象は、努力義務を果たさなかったという注意処分のようなのですが、不作為を理由に処罰する場合義務の内容（何をすべきだったか）を具体的に示さなければならないのですが具体的に提示しておりません。法律家の意見書（いかなる法令、条例違反にも実質的具体的にあたらぬというもの）も提示いたしましたが、検討のあとがみられませんでした。

私は自分でやれる努力はすべて果たしていると思っております。また法的にも道義的にもやましいことは一切ありません。前回私が提出した、イ、ロについて、および法律家が出してくれた意見書について速やかに検討し、措置をとっていただくよう提案します。

全国市町村交流レガッタ加古川大会

市議会「子吉川」・「鳥海山」、森林組合の3クルーが出場

「子吉川」クルー



参加者全員で記念撮影

「鳥海山」クルー



兵庫県加古川の河口堰に広がる、静けさに包まれた水面（みなも）9月25日・26日に行われた「全国市町村交流レガッタ加古川大会」の会場は、幅は子吉川の2倍以上はある、すばらしい漕艇場でした。毎年200クルー以上参加するという市民レガッタは、年3回ほどの各種大会があるという、本市以上にポット熱が盛んな地域のようなです。

本市からは市議会「子吉川」と「鳥海山」、森林組合の3クルーが出場。戦績は、3クルーとも決勝に進出し、子吉川は他クルーのタイムを見てもかなりの強豪揃いながら4位入賞、鳥海山は故障者を出しながらも、鼻の差で準優勝、森林組合も初優勝をうかがう5位入賞と、それぞれ全国相手に堂々と見事な戦いぶりでした。

各クルーは参加各地域との交流を深め、「水辺のまち由利本荘」を全国にアピールできたものと確信しています。応援ありがとうございました。

産業活性化議員連盟



道者道の途中で説明を受ける各議員(木境)

観光部会が現地視察

本市の産業活性化を目的として設立した「産業活性化議員連盟」。その観光部会の現地視察を10月14日、由利地域と矢島地域で行いました。

本市の重要な観光資源である鳥海山を取り巻く史跡・文化財などを改めて調査・研究しようとするもので、「森子大物忌神社境内」(由利地域)や「木境大物忌神社境内と道者道」(矢島地域)のほか、城下町の面影残る矢島の町中に点在する各史跡などを、市当局や「矢島観光サポーター」の丁寧な案内で視察しました。

参加議員は、鳥海山のすそ野に広がる身近な観光資源を再確認し、今後の利活用の重要性を改めて強く感じた現地視察となりました。



市ホームページからどうぞ
URL: <http://www.kaigiroku.net/kensaku/yurihonjo/yurihonjo.html>

会議録検索システム

ご利用ください
ご利用ください
市議会会議録の検索システムが、市ホームページから利用できます。過去の一般質問などの内容を、発言者やキーワードで検索できますので、皆さんご利用ください。

関係私企業の請負契約等の状況報告

議会議員政治倫理条例にかかわる関係私企業との10万円を超える請負契約などについて、市長から9月6日付けで報告がありましたので次のとおり公表します。

関係する議員		高橋和子		
請負人の氏名		秋田しんせい農業協同組合代表理事組合長 阿部和雄		
事業名	契約年月日または支払い年月日	金額	内容	契約期間または物品納入期日
物品などの購入	平成22年4月30日	395,727円	消耗品など物品の購入(4月分)	平成22年4月5日～30日
	平成22年5月31日	1,380,195円	消耗品など物品の購入(5月分)	平成22年5月6日～31日
	平成22年6月30日	2,162,569円	消耗品など物品の購入(6月分)	平成22年6月1日～30日



報告

(仮称)文化複合施設整備特別委員会
施設愛称を募集中 / 進捗率32%(8月末現在)

9月定例会では、議案審査と合わせ来年秋のオープンを目指す総額58億円余りの(仮称)文化複合施設の建設現場を視察しました。

8月末現在で進捗率32%で、計画より2カ月遅れの状況ですが、内部には巨大な空間が目を引くなど、その実像が見えてきています。

ソフト部分については、補正予算とも関係しますが、施

設の愛称募集やPRパンフレットの作成などを行うほか、役所内に部連携のプロジェクトチームを立ち上げています。

委員からは、管理運営面の準備の遅れを心配する声がありました。巨費を投ずる事業であるだけに、あと一年市民と共に知恵を出しあい、真に喜ばれる「命」を吹き込んで欲しいものです。

市民の声

財政危機対策に提案

鳥海地域 梶原浩栄

今、国やほとんどの地方自治体の財政が厳しい状況にあることが知らされています。国の財政を素人の目から単純に見てみると、収入は税込と借金で、支出は行政サービスと国家維持関係、国際交流関係だと思っています。家庭では、家計が厳しければ交際費を抑えると思います。

国も交際費をもう少し抑えたらどうかと思います。この間も総理大臣がある国に援助を宣言し、国際社会の中で地位を得るためにお金を配っています。まるで、いじめられっ子が親の財布からお金をくすね、いじめっ子に渡しているようにも見えます。

政治家の方々も、収入を上げて支出を削減したいと、がんばっているようです。増税で収入を上げ、国民に納得してもらうため、歳出削減をアピールしているということでしょうか。

私の提案は、収入を上げるのに、国がビジネスをやったかどうかということです。行政サービスの一環ではなく、完全に営利目的で国が外国と商売をする。法的な問題もあるかもしれませんが、いかがでしょうか。

編集後記

暑さ寒さも彼岸までという言葉どおり、ついこの間までの猛暑の日々がうそのような、急激な季節の変わりようです。8月のゲリラ豪雨により被災された皆さまには、お見舞い申し上げます。

岩城や大内地域は豪雨、矢島や鳥海地域は晴天、あらためて由利本荘市の広さを実感いたしました。

議会改革委員会が発足しましたが、政治倫理条例の議論で各党派の意見がかみ合わず、足踏み状態です。議員の改選から一年「初心忘るべからず」市民の負託に応えるべく気合を入れ直しているところですよ。

皆さんの議会に対する意見・要望・提言などをお寄せください。議会だよりが届くころには、霊峰鳥海山も雪化粧をしていることですよ。